



若松騎兵大佐の満州事變の實戦談

平町に開催の講演は米月中旬 歓迎會も其の際に催す

石城郡出身の千葉騎兵學校に於ける秋分作況調査に 教導隊長若松(晴司)大佐は 昨二十六日午後 既報の如く昨二十六日午後 一時五十分常磐線下り平 着で歸郡し同町在郷軍人並 ちに警越東線下りで郷里赤 井村に向ひ今二十七日出征 中に逝去された母堂の葬儀 を營み明二十八日は前任仙 臺騎兵聯隊の歓迎會に臨み 來月一日歸隊の筈で平町に 開催の計畫ある同大佐の講 演會は多分米月中旬頃にな るらしく右の否やは三十日 頃までに決定の様様であつ て若し地元の種類團體及び 學校等に講演希望の多い場 合は數日の滞在を要する為 め在郷軍人聯合分會等から 福島聯隊を経て陸軍大臣 の許可を受ける様になるで あらう而して平町の歓迎會 も同講演と同時に催される もの、如くである。

秋分の作況 成績良好

水稲大豆半年作 石城郡神谷村の本縣農試分 記の如くである

石城の臨時 忠魂祭

來月中旬頃 石城郡尚武會並に在郷軍人 聯合分會では満州事變に出 征したる戦死病歿者の爲め 本月末平町松ヶ岡公園内の 同碑前に臨時祭を執行すべ く協議中であつたが郡出身 の若松騎兵大佐が來月中旬 頃地元各種團體から軍事講 演の切なる希望を受け來郡 の筈なので其の機会に於て 執行することになった因に 右戦死者を出した町長は左 の如くである

町村施行の 港灣土木

石城郡植田町は今回の救濟 土木事業に於て港灣計畫に 一萬四千圓の町村施行を配 するものと云はれてゐる。

元はソリ引きの娘 今は某齒科醫の妻

誘拐されて上京の際に大震災 身元を明けての親探し

平警察署に昨二十六日午後 八時頃風體卑しくない婦人 末だに邂逅されず困つてお 自分は當時東京府下龜井の 戸町四の七二に居住する市 町に子守奉公中子供を火傷 毛みよ(一一)と稱するもの をあるが兩親は元石城郡小 川村の山林に木材運搬のシ 川村の山林に木材運搬のシ 川村の山林に木材運搬のシ 川村の山林に木材運搬のシ 川村の山林に木材運搬のシ

四倉驛前の 繭市活況

平均五十二圓 繭市活況 繭市活況 繭市活況

常識講座

盛んにデモを飛ばした とか近來よく使はれて いるがデモは出所によつ て一、二意味を變へら れる場合があるけれどデ モンストレーションの デモで示威運動のこと

吉林で 輕傷

中町字研町居住田村郡三春 町出身若松二十九聯隊歩兵 二等兵は満州駐利吉林に於 て去二十日敵の砲弾の破片 を浴び左胸部を輕傷した

片倉製糸の 晩繭入荷

平町片倉製糸の専屬養蠶組 合に於ける晩秋繭の入荷は 來十月四、五日頃からの豫 定で約三萬貫を見込まれて いるが漸騰歩調の昨今の繭 價は現下の糸價の好況より も生産減を豫想されること が可也の影響らしく従つて 先越前は若干の高値を唱ふ ことになるであらう夫れ は去月來生糸の急騰で俄か

偉い人々 夢之助

前平商業學校校長吉田利吉君 の頭腦は明晰な點に於て正 に特製品だ、博學であらゆ る方面の知識を貯蔵されて るので、夜の明ける迄話し ても話の盡きると云ふ事か 名な島田氏かと心中大に不 平であつた、處が演壇に立 小樽榮轉の噂は新聞にも出 正した。

運轉

石城郡上小川村の上小川生 月頃まで平町才穂小路地 自動車業方に運轉助手をし

俳句 燈下雅談

源三位頼政と云へばぬる

工場増築

平町片倉製糸で 呈してゐる平町片倉製糸で は揚梓三十二窓の増設で目 下工場裏に横五間、縦十一 間五十五坪の建築中である が右は高級品が好歩合に賣 れない場合普通のもの、上 の口を揚げる能率増加の計畫 によるもので來る十一月中 旬頃竣工の豫定である

文藝少年の 忍術試し

平町各書店か 石城郡平窪村の下平窪鈴木 千里假名(一四)は同村小學 校高等科二年生であるが雜 誌の購讀から小説や忍術本 が好きになり買ふ金がない ので本春以來平町四丁目 のマルトモ、正木、同村才穂 路小松、二丁目清光堂その 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで

文藝少年の 忍術試し

平町各書店か 石城郡平窪村の下平窪鈴木 千里假名(一四)は同村小學 校高等科二年生であるが雜 誌の購讀から小説や忍術本 が好きになり買ふ金がない ので本春以來平町四丁目 のマルトモ、正木、同村才穂 路小松、二丁目清光堂その 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで

文藝少年の 忍術試し

平町各書店か 石城郡平窪村の下平窪鈴木 千里假名(一四)は同村小學 校高等科二年生であるが雜 誌の購讀から小説や忍術本 が好きになり買ふ金がない ので本春以來平町四丁目 のマルトモ、正木、同村才穂 路小松、二丁目清光堂その 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで

文藝少年の 忍術試し

平町各書店か 石城郡平窪村の下平窪鈴木 千里假名(一四)は同村小學 校高等科二年生であるが雜 誌の購讀から小説や忍術本 が好きになり買ふ金がない ので本春以來平町四丁目 のマルトモ、正木、同村才穂 路小松、二丁目清光堂その 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで

文藝少年の 忍術試し

平町各書店か 石城郡平窪村の下平窪鈴木 千里假名(一四)は同村小學 校高等科二年生であるが雜 誌の購讀から小説や忍術本 が好きになり買ふ金がない ので本春以來平町四丁目 のマルトモ、正木、同村才穂 路小松、二丁目清光堂その 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで

文藝少年の 忍術試し

平町各書店か 石城郡平窪村の下平窪鈴木 千里假名(一四)は同村小學 校高等科二年生であるが雜 誌の購讀から小説や忍術本 が好きになり買ふ金がない ので本春以來平町四丁目 のマルトモ、正木、同村才穂 路小松、二丁目清光堂その 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで

文藝少年の 忍術試し

平町各書店か 石城郡平窪村の下平窪鈴木 千里假名(一四)は同村小學 校高等科二年生であるが雜 誌の購讀から小説や忍術本 が好きになり買ふ金がない ので本春以來平町四丁目 のマルトモ、正木、同村才穂 路小松、二丁目清光堂その 他各書店から本月末まで 他各書店から本月末まで

畜業方面

牧野改良 (一)

我が國には牛馬の生産飼育の爲め放牧、採草してゐる土地が約百五十萬町歩あります、之れ等の土地は往昔から其の地方の畜産並に農業經營とは密接な關係ありまして農家にとつては極めて大切なものであります、之れを使用するに當つて注意を怠り濫牧、濫獲を續けて來た爲め近年著しく荒廢して飼草の給源に枯渇し家畜の使用に困難を來した許りでなく農家經濟上重要な地位を占むる厩肥にも不足を告げて來まして之れが爲め農家の蒙つた損害は莫大で農村疲弊の原因も此處に存すると云つても過言ではありません、然るに牧野の重要性を辨えぬ者は之れ等の土地を植林開墾等に使用した方が有利であると云ふ事を宣傳する爲めに牧野の面積は年々減少し荒廢の度は益々増加して來たので山林の最も有利な生業である畜産は衰滅の状態になり厩肥の代りに高い金肥を使用しなければならなくなつて農民の困窮は益々酷くなつて來たのであります、此の憂ふべき現象を此まに放任して置いたら遂からず畜産業は危険にヒンするに當然であるから今の内に

牧野を整備し荒廢した場所には手入を加へ面積の減少を防がねばならぬと云ふ叫は段々高くなつて來ました

佛蘭西料理

・レストラン・サロン

電352 平町田町

スペイン G.H.N 元 詰
甘味 葡萄酒
ゴルフポートワイン
1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一層佳良です
(平二) 西村屋薬舗 (電三)

お醤油は

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

明治生命

代理店

山崎合名會社

山崎與三郎

移轉のお知らせ
從來の館で手狭であり尙ほ新館建築の計畫もありましたので左記に移轉いたしました、
美術専門 齊藤寫眞館
人像専門 齊藤寫眞館
元公會堂池の端 平町字大町五
電話(呼六三七)

諸毒下しの大妙藥
安流丸
平町五丁目角
特約 山野邊藥局

服んで良く効く
(絶対に胃腸を害しませぬ)
淋病と消渴の特効藥 **濟淋**
本舗 責任製劑 水野藥局
平町一丁目 振替貯金口座 仙一八八七六

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森 勇
平町南町 (電二五八番)

煙突は 朝日
石綿セメント製
絕對に ぜい太い!!
経済的で 火災の心配がない
金屋商店

仲町に洋服屋が出来ました
工賃本位が弊店のモットー
正確と迅速他の追従を許さぬ勉強
洋服調製 信夫屋洋服店
店主 齋藤 一平

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

|| 入院需應 ||
藤沼醫院
電話五〇七番

病淋・毒梅・科兒小・科外内
市原醫院
(番四一一話電)

壁 材 料 販 賣
壁材料の相談は當店
戸障子用金具類
石炭、セメント
春光壁、角又、清光塗料、人造石、色砂、マープル
マンノール防水劑
クレオソート、コールドタール、

平町 新川町の **上總屋へ**
洋酒と食料品は
特賣 (三十三度) 一四十四錢